

## 第4章

### 文化財に関する調査・取組

#### ～呉市の文化財を紐解いてみよう～

- ・ 合併前の市町単位で市史・町史（誌）がまとめられており、その他、文化財類型ごとに様々な調査が行われています。
- ・ 本計画作成にあたり、市民アンケート（市内28地区、各5名）、ワークショップ（9回・箇所）、ヒアリング調査（60団体・事業者・近隣市町）を実施しました。
- ・ 文化財類型、地区ごとに<sup>しっかいちょうさ</sup>悉皆調査の実施状況は異なります。
- ・ 文化財に関する施設、小中学校の教育、高等教育機関の教育・課外活動、地域団体、民間事業者によりそれぞれ関連する活動が行われています。
- ・ 呉市では、養成講座を修了し、文化財に関する専門的な知識を有する市民を「くれ文化遺産コンシェルジュ」として認定し、保存・活用の担い手となることを目指して活動を行っています。

## 1 計画作成に係る調査

### (1) 文化財の既往調査の整理

文化財に関する主な調査、文献資料の一覧を下記にまとめます。

#### 市史編纂事業による町市史（誌）

文献名	編集／発行	発行年
呉市史 1～8巻	呉市史編さん委員会／呉市役所	昭和 31・34・39・51・62・63・平成5・7年
呉市史 資料編（近世・近代1・海軍1）	呉市史編さん委員会／呉市役所	平成11・30・令和4年
倉橋町史 資料編1・2・3	倉橋町	平成4・3・9年
倉橋町史 海と人々の暮らし	倉橋町	平成12年
倉橋町史 通史編	倉橋町	平成13年
倉橋の建築	倉橋町	昭和64年
倉橋の奉納額と石造物	倉橋町	平成2年
倉橋多賀谷氏と丸子山城跡	丸子山城跡調査団／倉橋町	昭和61年
豊町史 資料編	豊町教育委員会	平成5年
豊町史 本文編	豊町教育委員会	平成12年
蒲刈町誌 民俗編	蒲刈町誌編集委員会・蒲刈町教育委員会／蒲刈町	平成7年
蒲刈町誌 自然編	蒲刈町誌編集委員会・蒲刈町教育委員会／蒲刈町	平成10年
蒲刈町誌 通史編	蒲刈町誌編集委員会・蒲刈町教育委員会／蒲刈町	平成12年
安浦町史 地誌・民俗編	安浦町史編さん委員会／安浦町	平成12年
安浦町史 通史編	安浦町史編さん委員会／安浦町	平成16年
音戸町誌	音戸町誌編纂検討委員会／音戸町	平成17年
川尻町誌 自然編	川尻町・川尻町教区委員会／川尻町	平成16年
川尻町誌 民俗編	川尻町史編さん委員会・呉市史編さん委員会／呉市役所	平成17年
川尻町誌 資料編	川尻町史編さん委員会・呉市史編さん委員会／呉市役所	平成19年
川尻町誌 通史編	川尻町史編さん委員会・呉市史編さん委員会／呉市役所	平成20年
下蒲刈町史 資料編	下蒲刈町史編纂委員会・呉市史編さん委員会／呉市役所	平成19年
下蒲刈町史 民俗編	下蒲刈町史編纂委員会・呉市史編さん委員会／呉市役所	平成17年
下蒲刈町史 図説通史編	下蒲刈町史編纂委員会・呉市史編さん委員会／呉市役所	平成19年
下蒲刈町史 自然編	下蒲刈町史編纂委員会・呉市史編さん委員会／呉市役所	平成18年
豊浜町史 資料編	豊浜町史編さん委員会・呉市史編さん委員会／呉市役所	平成25年
豊浜町史 通史編	豊浜町史編さん委員会・呉市史編さん委員会／呉市役所	平成27年
呉 戦災と復興－旧軍港市転換法から平和産業軍港都市へ－	呉市史編さん委員会／呉市役所	平成9年
呉市制 100周年記念版 呉の歩み	呉市史編纂委員会／呉市役所	平成14年
呉市制 100周年記念 体験手記集『呉を語る』	呉市企画部呉市史編纂室／呉市役所	平成15年
増補改訂版 呉の歩みⅡ－英連邦軍の見た呉－	呉市総務部市史文書課／呉市役所	平成18年

## 文化財類型ごとの調査、文献資料

類型	文献名	編集／発行	発行年
有形文化財	広島県の民家（広島県民家緊急調査報告書）	広島県教育委員会	昭和53年
	広島県の近世社寺建築	広島県教育委員会	昭和57年
	広島県重要文化財呉鎮守府司令長官官舎修繕工事報告書	呉市	平成8年
	呉市指定重要文化財（建造物）向日原八幡宮本殿・幣殿・拝殿保存修理工事報告書	呉市	平成9年
	広島県の近代化遺産：広島県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書	広島県教育委員会	平成10年
	街のいろはレンガ色	呉レンガ建造物研究会	平成12年
	呉市指定有形文化財 旧澤原家住宅調査報告書	呉市	平成16年
	近代遺跡調査報告書－交通・運輸・通信業－	文化庁	平成30年
	呉市指定有形文化財（建造物）旧金子家住宅離れ棟及び伝統的建造物台所等修理工事報告書	呉市	平成31年
無形文化財	広島県の諸職：広島県諸職関係民俗文化財調査報告書	広島県教育委員会	平成6年
民俗文化財	呉及び其の近郊の史実と伝説	呉郷土史研究会	昭和5年
	呉市の神楽	中松一夫／仁方文化財協会	昭和36年
	広島県の民俗芸能	広島県教育委員会	昭和53年
	広島県民俗地図：広島県緊急民俗文化財分布調査報告書	広島県教育委員会	昭和58年
	広島県の民謡：広島県民謡緊急調査報告書	広島県教育委員会	平成元年
記念物	広島県遺跡地図	広島県教育委員会	昭和58年
	呉市の古代 中世遺跡分布	古文化の会	昭和60年
	呉地域の地質 地域地質研究報告（5万分の1）図幅	通商産業省工業技術院地質調査所	昭和60年
	呉市の盃状穴	原田 敏明	平成3年
	広島県中世城館遺跡総合調査報告書 第2集	広島県教育委員会	平成6年
	呉の地質と岩石	寺岡明文	平成8年
	広島県の巨樹	滝口進	平成9年
	広島県呉市植物誌	太刀掛優	平成11年
	呉市の生物	ひろしま自然の会	平成12年
	レッドデータブックくれ	ひろしま自然の会／くれ環境市民の会	平成30年
	灰ヶ峰砲台跡（呉市教育委員会発掘調査報告書第1集）	呉市	令和3年
伝統的建造物群	広島県豊田郡豊町御手洗地区保存再開発調査報告書	広島県豊田郡豊町	平成4年
その他	広島県神社誌	広島県神社誌編纂委員会／広島県神社庁	平成6年
	呉市の42年災害	広島県	昭和50年
	呉市の火災と水災の記録	呉市消防局／呉市防災協会	昭和52年
	広島県方言緊急調査報告書	広島県教育委員会	昭和56年
	広島県砂防災害史	広島県	平成9年
	呉の魅力・お宝90選 第1巻 文化財・建物・橋・海軍遺構編	呉市	平成25年
	呉の魅力・お宝90選 第2巻 イベント・祭り・風習編	呉市	平成26年

第4章 呉市の文化財を紐解いてみよう

呉の魅力・お宝 90 選 第3巻 自然・景観・動植物編	呉市	平成 27 年
呉の魅力・お宝 90 選 第4巻 先人・民話・技術編	呉市	平成 29 年
呉の魅力・お宝 90 選 第5巻 総集編～海と海軍の香り～	呉市	平成 30 年

(2) 市民等を対象とした調査

① アンケート

市内の各地区で活動されている方々を対象として、市民意識の把握、活動実態の把握、地域のお宝発掘を目的にアンケート調査を実施しました。

実施時期：令和 4（2022）年 2 月 1 日～18 日

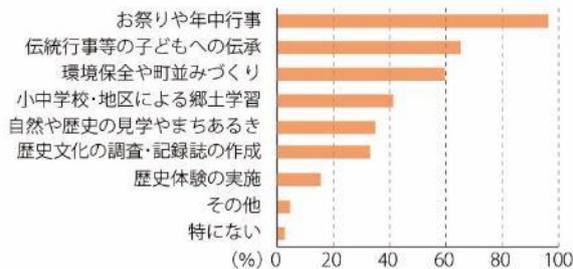
実施方法：呉市地域協働課及び各市民センターへ依頼し、まちづくり委員会・協議会等より対象者を抽出（28 地区、各地区 5 名）

回答数・配布数：112 件・140 件

[結果の概要]

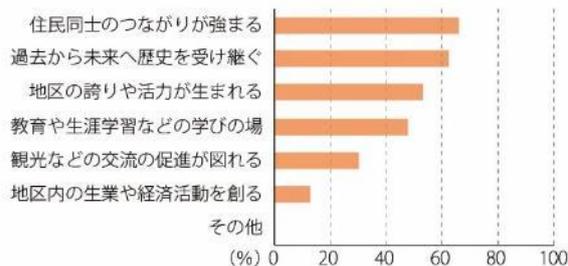
○地域で行っている歴史文化の取組

最も多いのがお祭りや年中行事で、次いで伝統行事等の伝承、環境保全・町並みづくりでした。一方で、回答は少ないですが、まちあるき・歴史体験、調査・記録誌作成を行っている地区もあり、継続していけるような環境づくりに取り組む必要があります。



○歴史文化が地域へもたらす効果

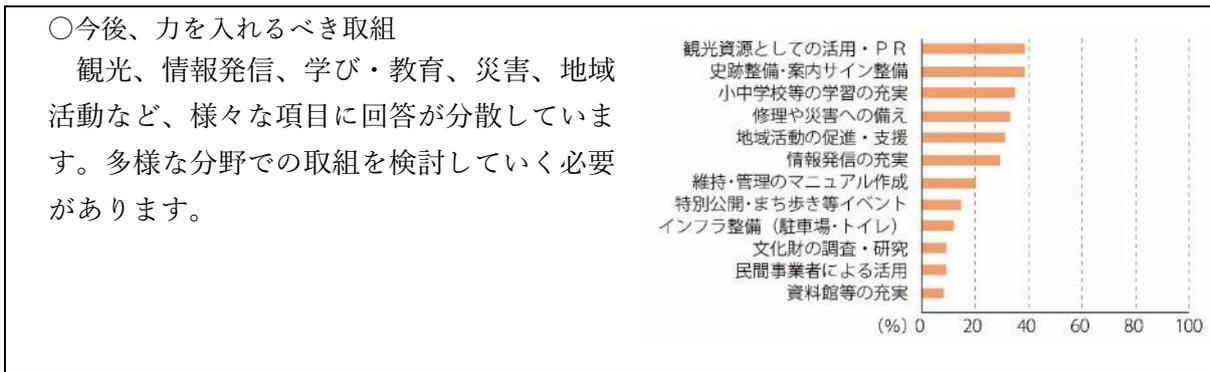
住民同士のつながり、歴史の継承、地区の誇り・活力が約半数以上の回答がありました。地区のコミュニティづくりへの効果が大きく意識されています。一方で、生業・経済活動の効果は回答が低く、今後、活用を図っていくためには重要な視点です。



○地域で取り組むにあたっての課題

担い手・後継者が最も多くなっています。人材育成について、地区だけでなく、市全域で取り組んでいく必要があります。





## ②市民ワークショップ

市内の身近な文化財に対する理解を深めるとともに、保存・活用に関する多様な意見やアイデアを計画に反映することを目的に、参加者公募によるワークショップを実施しました。なお、ワークショップの実施にあたっては、それぞれ関連する地域の団体等の協力のもと企画・運営を行いました。

### ワークショップ開催一覧

テーマ	日時・会場	内容	講師・連携団体	参加者
日本遺産を巡る北前船編 御手洗地区	令和4年 3月5日 港町交流館	ボランティアガイドによる案内でまち歩きを行い、その後、グループごとにまち歩きを楽しむ場所やキーワードを集めて、地図を作製した。	重伝建を考える会	16人
日本遺産を巡る鎮守府編 アレイからすこじま	3月12日 大和ミュージアム	グループでまち歩きを行った後、新たな発見を共有し、点在する遺構をPRするためのアイデアについて意見交換を行った。	呉市海事歴史科学館学芸課	28人
まちづくり×学生	6月18日 大和ミュージアム	高校生を対象に実施。南川智子氏、福崎陸央氏、福島大悟氏による活動事例紹介の後、グループにわかれて、参加者がそれぞれ考える・実践している活動について意見交換。	ぐるぐる海友舎プロジェクト理事長・南川智子氏 まめな・学育プロジェクト担当・福崎陸央氏、福島大悟氏	13人
考古学チャレンジ教室	7月24日・28日 野外活動センター	土器作り・勾玉作り・火起こし体験など、古代の文化の体験を通じて関心を高め、今後どのような取組が求められるのか意見を聴取した。	広島県立歴史民俗資料館	59人
自然とふれあう昆虫観察会「夏の森で昆虫を探そう」	7月30日 灰ヶ峰公園	ひろしま自然の会の引率による観察会、および採取した昆虫についての解説の後、保護者と自然に関する学びについてなどについて意見交換。	ひろしま自然の会	9人
まちづくり×祭り	10月2日 呉市立美術館別館	入船山秋祭りに併せて実施。呉市観光未来塾塾長・丁野朗氏及びヤブ女代表・久米ゆき氏による祭礼やヤブの解説の後、ヤブをモチーフにしたポストカードづくり、ヤブについての意見交換を行った。	丁野朗氏 ヤブ女	16人

## 第4章 呉市の文化財を紐解いてみよう

テーマ	日時・会場	内容	講師・連携団体	参加者
写真で切り取る地域の魅力 in 音戸町	10月29日 法専寺	地元の方と一緒にまち歩きを行い、「魅力的な場所」を撮影し、その場所や風景について、グループで共有し、地図に落として、意見交換を行った。	音戸町地域おこし協力隊・久保田義明氏ほか	4人
写真で切り取る地域の魅力 in 倉橋町	10月30日 シーサイド桂ヶ浜荘	地元の方と一緒にまち歩きを行い、「魅力的な場所」を撮影し、その場所や風景について、グループで共有し、地図に落として、意見交換を行った。	倉橋町地域おこし協力隊・前中詩織氏ほか	6人
写真で切り取る地域の魅力 in 下蒲刈町	11月23日 弘願寺	ボランティアガイドによる案内でまち歩きを行いながら、「魅力的な場所」を撮影し、その場所や風景について、グループで共有し、地図に落として、意見交換を行った。	下蒲刈町地域おこし協力隊・鶴田和人氏 下蒲刈観光ガイドの会	12人

### ③ヒアリング調査

市内では、市民や企業、専門家による多様な取組が行われています。文化財に関連して多様な分野で活動している団体や事業者等を対象として、現状の取組内容や課題等についてヒアリングを行いました。ヒアリングは60団体・事業者・近隣市町に実施しました。ヒアリングで得られた主な意見を下記にまとめます。なお、団体の一覧は資料編に記載しています。

#### ヒアリングでの主な意見

団体等	文化財の保存・活用に対する主な意見
<b>有形の指定等文化財所有者・管理者</b> 市、団体、企業、市民など多様な主体による。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の建物なので、空調設備が設置できない。老朽化が進み過ぎて、維持が大変。</li> <li>・お金の負担が最も大きな課題。</li> <li>・文化財指定のお墨付きがあることで、企業価値も上がると考えている。</li> <li>・施設の管理、安全のために、公開する場合は警備員などをつける必要がある。</li> <li>・施設を公開することで、市民に身近に感じてもらい、企業活動への理解を深めることが目的。効果が見えにくいのが、意義はある。</li> <li>・公開等が所有者（企業・事業者等）のPRにつながれば良い。</li> <li>・日本遺産になってから、見学を受け入れるようになった。公開を通して、地域に企業名が浸透してきたことを実感している。</li> <li>・現役で使っているため、機密性の高い情報もある。建物内部は公開できない部分もある。写真撮影を禁止したり、SNSなどで発信しないようお願いしている。</li> <li>・修復しないと見学や公開などの活用まではいかない。現状のままでは難しい。</li> <li>・体制として、自主的にということは難しいが、公開、イベントなど、市などから提案があれば、検討可能。</li> </ul>
<b>無形の指定等文化財所有者</b> 自治会等の組織と連携して保存会が組織化されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺地域の力を借りるしかない。</li> <li>・在住者でない方の参加で祭りを盛大にできた。にぎやかになれば地元の参拝も増えて来る。</li> <li>・普段から神社周辺に遊びに来てもらい、お祭りの認知度を上げていく取組を行っている。</li> <li>・自分たちの代で終わらせるわけにはいかない。</li> <li>・担い手である子どもの数が減ってきた。こどもが忙しい。</li> <li>・人数が少なくなると負担が増えて、これまで通りにやるにはしんどい。</li> <li>・道具の保存継承が大変。</li> <li>・伝統的な行事はどこもすたれてきている。がんばろうという地区が少なくなっている。</li> <li>・補助金などもあるが、申請作業まではいかない。</li> </ul>

団体等	文化財の保存・活用に対する主な意見
<p><b>教育機関（小・中・義務教育学校、高等教育機関）</b> それぞれの地域性を活かし、学校ごとに地域団体等と協働して学びのプログラムをつくっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習のテーマの設定などの早い段階から、外部の助けをもらいたい。</li> <li>・教員だけでは限界がある。継続してアドバイザー的な立場で専門的知識を有する人材に関わってもらいたい。</li> <li>・地域のなかで、歴史を教えられる人が少なくなっている。</li> <li>・出前授業など手軽にできる方法があることを知らなかった。新たなプログラムを検討する余裕がない。</li> <li>・地区の歴史を紹介する冊子などにまとめられていると教えやすい。</li> <li>・教員が生徒・児童と一緒に学ぶ機会があると良い。</li> <li>・小学校・中学校のつながりがあると良い。</li> <li>・小・中学校、高校をひっぱり大学生という仕組みはつukれないか。</li> </ul>
<p><b>郷土史等の歴史研究団体</b> 地区の歴史を独自に調査・研究・情報発信している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国でも郷土史研究会は徐々に減少している。市内でも、消滅してしまった団体もある。</li> <li>・高齢化が進んでいる。担い手が不足。</li> <li>・郷土史を学校の教材として使って欲しい。</li> <li>・市民が古い写真などの資料を沢山持っている。集めて保管する場所があると良い。</li> <li>・古文書の読解など、活動している方々の勉強の成果を活かして、市のお手伝いをするような仕組みをつukれないか。</li> <li>・新建材が使われるなど文化財的な価値は低くても、地元子どもなども興味がある歴史的な建物などがある。</li> <li>・団体として発信力を強めていきたい。</li> <li>・子どもは興味を持つ。大人になっても続けられるようにしたい。</li> </ul>
<p><b>まちづくり協議会・自治会</b> 組織の活動の中に歴史文化に関わる活動が位置づけられている団体もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の中にはいろいろな団体があり、それぞれ個別に活動、相談している状況。</li> <li>・地域全体の活動をコーディネートするという視点が弱い。</li> <li>・大きな財産を知ってもらいたい。まちの活性化につながる。</li> <li>・構想はたくさんあるが、資金面で前に進まない。</li> <li>・声をかければ、地区内のいろいろな団体が協力してくれる。</li> <li>・建物を守りたかったが、文化財として認知されていなかったため宅地開発で取り壊されてしまった。</li> <li>・歴史に興味・関心がある人は少ない。</li> <li>・呉市全体のマップには地域の方々は興味がないように感じているが、地区のマップをつくったら反応があった。</li> <li>・世代交代、人材育成がうまくいかない。</li> </ul>
<p><b>市民団体・ボランティア団体</b> 観光、自然、などをテーマに、ボランティアガイドやイベント等を実施している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民、移住者、地域おこし協力隊などが一緒になって組織を作っている。</li> <li>・点として観光客が来る場所はあるが、広がりが無い。コンテンツをつukらないといけない。</li> <li>・地域のお金を落とすためのプログラムが必要。</li> <li>・同じ地区、テーマで活動している人がつながる機会があると良い。</li> <li>・定年後に参加する人がほとんど。若い人の参加は難しい。</li> <li>・続けられる活動内容としている。しんどくならないペースで行っている。</li> <li>・市で持っている市史編さんなどの情報を提供してほしい。</li> <li>・市で困っていることなど相談してもらえれば、民間として動くこともできる。</li> <li>・地区ごとにばらばらにガイドなどはしているが、全体の大きなストーリー、歴史の流れや関係性を紹介できていない。</li> <li>・単独でやっていくのは限界がある。市や他の団体の協力を得ながら進めたい。</li> <li>・映画の効果は大きい。住民もそれを見て地元の良さを再認識する。</li> <li>・ヤブについての文献も情報もなかった。</li> <li>・呉にしかないものでも、地元の人は意識していない。それぞれの特徴がある。</li> <li>・参加するよう声をかけてもらって興味ももち、実感して好きになった。</li> </ul>

第4章 呉市の文化財を紐解いてみよう

団体等	文化財の保存・活用に対する主な意見
<p><b>地域団体、地域おこし協力隊</b> まちづくり協議会等と連携し、文化財等を活かした地域の取組である。各地区では地域おこし協力隊や移住者なども参加して活動している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区の中には魅力的な歴史文化がたくさんある。発信していきたい。外の人に紹介したい。</li> <li>・ もともと古いところはあるが、見せ方を工夫したい。</li> <li>・ 呉市は、あまり観光地になっていないところが魅力。</li> <li>・ 市内外の地域おこし協力隊などのネットワークがある。情報交換や連携して活動もしている。</li> <li>・ 地域の人が主役。地域の人と話して、成功体験を重ねていく。</li> <li>・ 地域の中には感動する歴史がある。</li> <li>・ 地域の方とコミュニケーションするためには、歴史は共通言語となる。</li> <li>・ 地域には記録されていない歴史がたくさんある。</li> <li>・ 歴史をテーマにすると、地元の方は盛り上がる。強い結びつきができて、他の活動にも結びつく。</li> <li>・ 自分が発見した魅力を紹介している。案内されないとわからないところが多い。</li> <li>・ 子供達が参加できる地域の祭りが少なくなってきたので、小さくても良いので自分たちで始めようと始めた。</li> <li>・ 歴史文化を新しい文化と混ぜながら活かしていきたい。興味をもってもらうきっかけになる。</li> <li>・ 移住者から見たらこれだけきれいな景色も地元の人には特別なものと思っていない。</li> <li>・ 言い伝えはたくさんあるが、現状だと継承する人がいなくなってしまう。</li> </ul>
<p><b>施設運営者</b> 施設の運営を通して、地区の文化財等に関わる。イベント等の取組も実施している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設から時間がたって建物が古くて使いづらい。</li> <li>・ コロナ禍で自然体験などのニーズが増えている。景観、自然など、歴史とからめて魅力的に紹介できると良い。</li> <li>・ 歴史に詳しい人材が少ない。職員の研鑽が必要。</li> <li>・ 体験などの指導員、ガイドの数が少ない。人員不足。技術の伝承には時間がかかる。</li> <li>・ もっといろいろな人に知ってもらうための情報発信が必要。</li> <li>・ 収益性のあるプログラムづくりをしていく必要もある。</li> <li>・ 様々なプログラムを実施しているが、ハード面が付いてきていない面もある。</li> </ul>
<p><b>専門家・学識経験者</b> 文化財保存活用地域計画策定協議会や文化財保護委員会等、各分野の専門家が呉市に関わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市と連携することで、公的な立場を与えてもらえると活動がしやすい。地域や所有者との関わり。</li> <li>・ 活動を進めていくことで、団体としてノウハウを蓄積していきたい。</li> <li>・ 呉ならではの文化財を活かして研究・教育フィールドとして位置づけてもらえれば、有益な活動ができる。</li> </ul>

## 2 文化財の調査に関する現状と課題

類型ごとの調査の実施状況を地区ごとに下表に整理します。現在の呉市の合併以前にそれぞれの町単位で調査等が行われてきているため、実施状況について種別や地区で偏りがあります。

分類	種別	中央	宮原	吉浦	警固屋	阿賀	広	仁方	天志	昭和	郷原	下蒲刈	川尻	音戸	倉橋	蒲刈	安浦	豊浜	豊
有形文化財	建造物	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	—	○	○	○	—	△
	美術工芸品	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	△	—	○	○	○	—	△
無形文化財		△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	△	—	○	○	○	△
民俗文化財	有形の民俗文化財	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	—	○	○	○	○	△
	無形の民俗文化財	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	△	○	○	○	○	△
記念物	遺跡（史跡）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	△	△	○	○	○	○	△
	名勝地（名勝）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	△	—	○	○	○	—	△
	動物・植物・地質鉱物（天然記念物）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	△	○	○	○	△	△
文化的景観		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伝統的建造物群		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
文化財の保存技術		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
埋蔵文化財		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	△

（凡例）○：概ね調査ができている

△：さらに調査が必要

—：未調査

### ■用語の整理

悉皆調査：文化財の所在について、全体にわたって、漏れなく把握するための調査

詳細調査：既に把握されている文化財を対象に、その詳細の内容を調査し、文化財としての価値を明らかにするための調査

現況調査：既に悉皆調査や詳細調査が行われた文化財について、毀損や保存環境などの状況を確認する調査

## (1) 有形文化財

### ①建造物

近世から近代の繁栄を物語る町並みに残る歴史的建造物や呉鎮守府開庁以降の歴史を物語る旧呉海軍関連の建造物が残されており、広島県により、民家、近世社寺建築、近代化遺産（建造物）について、県域での悉皆調査が行われています。ただし、これらの悉皆調査は実施時期が古く、対象としている時代に偏りがあることから、現況調査による内容の更新が必要です。

沿岸部や島しょ部においては、近世から近代にかけて形成された町並みの中に当時の様相を示す歴史的建造物が残されており、市史編さん事業において、島しょ部では網羅的な悉皆調査が行われていますが、近年、空き家化や老朽化、相続問題などの課題が顕在化しており、正確な現況調査と全市的な悉皆調査が急務となっています。

また旧呉海軍関係の建造物の多くは、大戦中の空襲により被災しましたが、戦災を免れた庁舎、工場、倉庫などの施設は、海上自衛隊や民間企業などに引き継がれていることから悉皆調査が必要です。

さらに、海上自衛隊呉地方総監部や在日米陸軍基地管理本部の敷地内においては、旧呉鎮守府庁舎を中心とする呉鎮守府関連の建造物群や広海軍工廠、第11海軍航空廠関連の飛行機格納庫や水上飛行艇倉庫などの建造物群が戦後の開発を逃れたことで、拠点的かつ非常に良好に残されていることから、詳細調査の実施に向けた検討を積極的に行っていく必要があります。

### ②美術工芸品

美術工芸品は、社寺や個人で所蔵している場合が多く、市史編さん事業で地区ごとに網羅的な調査が行われている川尻町、安浦町、島しょ部の地域を除いて、各地区の特徴的な文化財が十分に把握できていません。今後、文化財の防災・防犯の観点からも、市内の美術工芸品について悉皆調査を進める必要があります。また、市内の歴史民俗資料館などにおいて収蔵されている化石資料や海揚がりの土器のほか、すでに指定文化財となっている歴史資料などについても、収蔵状況を把握する必要があります。

さらに、海軍関連の機械工作物も、現在の工場内などに稼働資産として残されており、呉市の歴史文化の特徴に鑑みて、悉皆調査を進めていく必要があります。

## (2) 無形文化財

市史編さん事業で地区ごとに網羅的な調査が行われている川尻町、安浦町、島しょ部の地域を除いて、各地区の特徴的な文化財が十分に把握できていません。伝統的な産業に係る製作技術など、呉市にとって特徴的な無形の文化財を対象とした悉皆調査が必要です。また、無形文化財を継承してくための個別の詳細調査や記録の作成も行う必要があります。

### (3) 民俗文化財

#### ①有形の民俗文化財

倉橋歴史民俗資料館や安浦歴史民俗資料館では、地域の農具、漁具、民具など収集・展示されていますが、市史編さん事業で地区ごとに網羅的な調査が行われている川尻町、安浦町、島しょ部の地域を除いて、各地区の特徴的な文化財が十分に把握できていません。

合併後の呉市として体系的な整理が行われていないことから、倉橋地区の造船業や採石業、豊地区の柑橘栽培など各地区の特徴を示す資料を明確にし、調査を実施していく必要があります。

#### ②無形の民俗文化財

広島県による悉皆調査として、広島県諸職関係民俗文化財調査や広島県民俗芸能緊急調査が行われています。しかし、近年の少子高齢化の影響を受けていることから、当該調査成果及び本計画において抽出した各地区の祭礼行事等を基礎資料として、現況調査の実施が望まれます。地域にとっての重要度や消滅の危険性などに応じて、優先的に後継者の育成や映像記録を作成するなど、措置を講じることが急務となっています。

### (4) 記念物

#### ①遺跡（史跡）

これまで遺跡として注目されてこなかった近世から近代にかけての新開や港湾施設、灌漑施設の痕跡などを、悉皆調査により把握していく必要があります。

また、情島旧石器時代遺跡や製塩遺構を伴う沖浦遺跡など、各地区の特徴的な遺跡については詳細調査を行い、歴史的価値を再検討する必要があります。また近代の遺構についても、亀ヶ首発射場跡や高鳥砲台跡など、多様な遺構が一括して残されている場合は、詳細な調査を実施し、保存・活用に向けた検討を行っていく必要があります。

#### ②名勝地（名勝）

島しょ部を除いて、名勝地に関する調査が行われていないため、音戸の「七勝」のように、各地区の歴史資料に基づいた抽出作業や地域住民と連携した悉皆調査を進めていく必要があります。

#### ③動物・植物・地質鉱物（天然記念物）

絶滅のおそれのある動植物については、くれ環境市民の会が「レッドデータブックくれ」としてまとめ、現況調査も継続して行っています。また、植物に関しては、「広島県呉市植物誌」に詳細にまとめられています。地質鉱物に関しては、「呉の地質と岩石」にまとめられていますが、上記に含まれない文化財について、調査研究機関と連携した悉皆調査が必要です。

#### **(5) 文化的景観**

両城の階段住宅に代表される斜面に形成された特徴的な住宅地、島しょ部における漁業や農業の生業が作り出す景観、現在も採掘が行われている石切場など、市内の歴史と結びついた特徴的な文化的景観がありますが、悉皆調査は行われていません。地域の歴史文化に密接に結びつく景観として評価し、調査を行うことが必要です。

#### **(6) 伝統的建造物群**

伝統的建造物群保存地区である豊地区の御手洗については、町並み調査が行われ、保存・活用が図られていますが、島しょ部を中心として歴史的な町並みが残るその他の地区については調査が行われておらず、現状を把握できていないため、今後町並みや歴史的建造物の悉皆調査が必要です。

#### **(7) 文化財の保存技術**

今後、ヒアリングや各地域へのアンケート調査を継続し、引き続き抽出していく必要があります。

#### **(8) 埋蔵文化財**

現在、呉市では、現地踏査を踏まえ 247 ヲ所の埋蔵文化財包蔵地が周知されていますが、開発事業に伴う試掘調査等により、新たな埋蔵文化財包蔵地が随時確認されています。しかし当初の悉皆調査から長い年月が経過し、開発により失われたものも多くあることが想定されるため、改めて現況調査を実施する必要があります。

### 3 文化財に対する取組の現状

#### (1) 文化財を「調べる」取組

##### ①文化財の指定・登録に向けた調査（文化振興課）

呉市では、文化財保護条例を制定し、文化財保護委員会を設置して、文化財の保護に取り組んできました。指定等文化財候補物件について検討するため、文化財保護委員会や調査研究機関と連携し、随時調査を実施しています。

##### ②文化財建造物の修理事業に伴う調査（文化振興課）

文化財建造物について、劣化や毀損によって大規模な修理事業を実施する際に、修理事業と併せて建物の痕跡調査や資料調査を実施しています。また、調査成果を修理事業報告書に掲載し刊行することで、広く周知しています。近年では、市有形文化財「旧金子家住宅」の修理事業に伴う建物調査を実施しました。

##### ③市内埋蔵文化財調査（文化振興課）

開発事業の実施に伴い、埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するため年間 120 件程度の現地踏査を行い、必要に応じて試掘調査や確認調査を実施しています。また、やむを得ず遺跡を現状のまま保存できない場合は、事前に発掘調査を行い、遺跡の記録を残しています。



試掘調査の実施状況

特に、呉市においては歴史文化の特徴を踏まえ、海軍関連遺構を発掘調査の対象としており、近年では「灰ヶ峰砲台跡」、「旧呉海軍工廠火工品機械工場跡」の発掘調査を実施しています。

また、例年実施している市内埋蔵文化財調査事業について集約した「市内埋蔵文化財発掘調査報告書」を刊行し、市民や全国の調査研究機関に対して周知を図っています。

##### ④市史編さん事業（文化振興課）

呉市への理解と愛着を深め、市民意識の向上に寄与するため、市域の歴史文化を網羅的に調査し編纂することで、市史を刊行しています。近年では令和3（2021）年度に、呉市史（資料編）のうち海軍Ⅰ（明治編）を発行しており、今後、海軍Ⅱ（大正・昭和前期編）の発行を予定しています。

##### ⑤呉市海事歴史科学館における調査研究（海事歴史科学館学芸課）

呉市海事歴史科学館所蔵の資料について調査研究を実施し、「呉市海事歴史科学館研究紀要」を刊行しており、調査研究成果を踏まえた展示の更新や企画展示を実施しています。また、収蔵資料データベースや学芸員講座の実施など、積極的な情報発信も行っています。

## (2) 文化財を「守る」取組

### ①文化財保存事業費補助金（文化振興課）

文化財建造物の修繕や天然記念物の樹勢回復事業など、所有者・管理者が行う文化財の保存事業に対して、国・県・市の区分に基づき補助を行い、保存事業の促進を図っています。

近年では、県史跡「石泉文庫及塾・僧叡之墓」の主屋の経年劣化が進行していたことから、大規模な修理事業を実施しています。

### ②文化財の現状変更に係る許可手続き（文化振興課）

指定等文化財を保護するため、文化財の指定地内における建築や工作物の設置や掘削、樹木の伐採などの文化財の現状を変更する行為について、文化財保護委員会や調査研究機関と連携し、変更行為の内容を精査し、許可手続きを行っています。

特に県史跡「万葉集遺跡長門島松原」は、海水浴場と一体化しており、イベント会場としても使用されることが多いことから、仮工作物の設置等について許可手続きを行い文化財の保護を図っています。

### ③旧澤原家住宅保存事業（文化振興課）

江戸時代後期の建造物である国重要文化財「旧澤原家住宅」について、劣化や毀損が生じた場合に速やかに保存修理を行っています。

### ④伝統的建造物群保存地区保存事業（文化振興課）

御手洗伝統的建造物群保存地区内の歴史的景観の維持を目的として、一般民家の修理・修景事業（年間7件程度）に対して補助を行い、保存地区の規定に沿った建物修理の促進を図っています。

また、呉市伝統的建造物群保存地区保存審議会において、補助を行う修理・修景事業の選定及び事業内容について審議を行い、専門的な見地を踏まえた事業の実施を行っています。

### ⑤広島県史跡若胡子屋跡保存修理事業（文化振興課）

老朽化による建物倒壊が危惧される県史跡「若胡子屋跡」について、広島県史跡「若胡子屋跡」保存活用検討委員会を設置し、建物調査による復元案や修理方針の検討を踏まえた修理事業を実施しています。

### ⑥文化財防火デーの取組（消防局、文化振興課）

呉市消防局と連携し、文化財防火デーに併せた、消防訓練等の取り組みを実施しています。また、広島県史跡「石泉文庫及塾・僧叡之墓」では地域の小学校が文化財防火デーの取り組みに積極的に関わる仕組みを構築しています。



文化財防火デーの取組

⑦出土文化財の保存処理（文化振興課）

埋蔵文化財発掘調査によって出土した出土文化財のうち、材質により劣化や腐食しやすい金属製品や木製品について保存処理を行い、適切な保管に努めています。

近年では、「灰ヶ峰砲台跡」から出土した木製品、金属製品について保存処理を実施しています。

（3）文化財を「活かす」取組

①文化財訪ね歩き講座「旧澤原家住宅見学会」（文化振興課）

国重要文化財「旧澤原家住宅」について、年6回の公開事業を実施し、浅野藩主が宿泊・休憩した御成の間で、呉市の歴史についてガイドを行っています。

近年では、見学会の開催に併せて、一般ボランティアによる旧澤原家住宅のお掃除会も実施しています。



旧澤原家住宅見学会の様子

②日本遺産構成文化財の公開活用「日本遺産 MONTH」（観光振興課、文化振興課）

例年11月、日本遺産（鎮守府 呉・横須賀・佐世保・舞鶴）の四市が連携し、期間限定で構成文化財を特別公開しています。また、日本遺産と関連した街歩きイベント等の実施も行っております。

近年では広島県内を対象として開催される「ひろしまたてものがたりフェスタ」と連携し、市内の特徴的な近代化遺産や町並みを巡るツアーを開催しています。



日本遺産 MONTH の様子

③旧呉鎮守府司令長官官舎の公開活用（海事歴史科学館学芸課）

入船山公園内に所在する国重要文化財「旧呉鎮守府司令長官官舎」の常時公開を行っています。また、くれ観光ボランティアガイドによる入船山公園一帯の観光ガイドも行われています。

④呉市豊町御手洗伝統的建造物群保存地区内の文化財建造物の公開活用（文化振興課）

広島県史跡「若胡子屋跡」、呉市有形文化財「旧柴屋住宅」や「旧金子家住宅」など、重要伝統的建造物群保存地区内の史跡や文化財建造物の公開活用が行われています。

特に江戸時代後期の茶室を持つ「旧金子家住宅」は、御手洗地区で行われるイベントなどにおいて、お茶会の会場としても積極的な活用がなされています。



旧金子家住宅における茶会の実施

#### (4) 文化財を「伝える」取組

##### ①パンフレットの配布、市史・呉の魅力お宝 90 選の販売（文化振興課、観光振興課、企画課）

文化財に関連するパンフレットとして「呉の文化財」、「日本遺産ガイドマップ」を作成し、市役所や観光施設等において無料配布を行っています。また、呉市史や呉の魅力お宝 90 選を作成し、市役所等において販売しています。

##### ②くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座（文化振興課）

呉市では、行政と地域住民が円滑に連携しながら、市域の文化財の保存・活用に取り組んでいくため、「くれ文化遺産コンシェルジュ」として人材育成と組織化に取り組んでいます。

呉市で実施した「くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座」を受講し、文化財や日本遺産等に関する専門知識を有する修了生を「くれ文化遺産コンシェルジュ」として認定しています。コンシェルジュは現在約 70 名が登録されており、市内の文化財の保存・活用の担い手となることを目指して、活動を行っています。

文化財に関する講座のほか、町並み調査や歴史的建造物に係る見学会の実施、文化財の継承活動にも積極的に参加しています。



くれ文化遺産コンシェルジュの活動

##### ③ふるさと文化探訪事業（学校教育課、海事歴史科学館学芸課、文化振興課）

呉市教育委員会学校教育課と連携し、「ふるさと文化探訪事業」として豊町御手洗や下蒲刈町三之瀬、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）や入船山記念館の見学をとおし、地域の歴史文化に触れるプログラムを実施しているほか、学校独自に社会科・総合的な学習で、文化振興課と連携した出前講座や地域住民と連携した郷土学習などの取組を行っています。

##### ④出前トーク（秘書広報課、海事歴史科学館学芸課、文化振興課）

秘書広報課が実施している出前トーク事業において、文化財に関連するメニューとして、海事歴史科学館学芸課では「大和ミュージアムのコレクション」、「入船山記念館のコレクション」というメニュー、文化振興課では「呉市の歴史」、「呉市の文化財」、「埋蔵文化財からみた呉市」という3つのメニューを整備し、要請に応じて実施を行っています。また出前トークとは別に、市内小中学校からの要望に応じて、授業と連携した形での出前講座も実施してい



市内小学校における出前授業の様子

ます。

**⑤指定等文化財説明看板の設置（文化振興課）**

指定等文化財について、統一された様式で説明看板を設置し、文化財の概要と価値を解説しています。また、老朽化した説明看板についても、再度記載内容や設置場所を検討し、整備しています。

**⑥考古学チャレンジ教室（文化振興課）**

広島県立歴史民俗資料館と連携し、土器づくりや勾玉づくり、火起こし体験など考古資料や民俗資料を活用した普及啓発プログラムを実施しています。

また、倉橋歴史民俗資料館において、和同開珎の枝銭が出土した亀ヶ首遺跡をテーマにした和同開珎の铸造体験など、地域固有の文化財を活かしたプログラムも実施しています。



考古学チャレンジ教室の様子

**⑦発掘調査に伴う遺跡見学会（文化振興課）**

市内の埋蔵文化財を市民へ周知するため、発掘調査の実施に伴う遺跡見学会を実施しています。

近年では、海上保安大学校内で実施された旧呉海軍工廠火工品機械工場跡の発掘調査において、遺跡見学会を実施しています。

また、出前トークや市内小中学校の地域学習の場において、発掘調査成果を報告し、普及啓発に努めることとしています。



旧呉海軍工廠火工品機械工場跡の遺跡見学会の様子

**⑧各展示施設における普及啓発（文化振興課、海事歴史科学館学芸課、観光振興課）**

地域の歴史文化を集約し、展示する施設として呉市歴史民俗資料館、倉橋歴史民俗資料館、長門の造船歴史館や安浦歴史民俗資料館があります。

また、呉鎮守府及び海軍と共に発展してきた近代呉の歴史や科学技術を紹介する施設として呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）があり、県内外から多くの来館者が訪れています。

その他、松濤園やかまがり古代製塩遺跡復元展示館、みかんメッセージ館など、地域の歴史文化の特色に応じて多様な施設が設置されています。

#### 第4章 呉市の文化財を紐解いてみよう

##### 文化財に関連する展示施設

名称	所在地	施設概要	運営主体
倉橋歴史民俗資料館	倉橋町 字前宮の 浦	倉橋島の歴史資料の収集・保存・公開を目指して、昭和 58 (1983) 年に開館。ナウマンゾウなどの化石や古代から近世までの土器などの考古資料とともに、長門島と万葉コーナーや、農業と石材業など島の産業資料や生活・民芸・文芸関係の資料を展示している。	文化振興課
長門の造船歴史館	倉橋町 字先前宮 の浦川東	平成 4 (1992) 年に開館。古代から現代までの木造船模型をはじめ、造船と海運業に関する資料などが数多く展示されている。館の中央には、平成元 (1989) 年に、1200 年以上前の姿に復元された遣唐使船が展示され、船内を見学することができる。	文化振興課
安浦歴史民俗資料館 (南薫造記念館)	安浦町 内海南	南薫造画伯の生家とアトリエを改修し、特別展示室を設置し、昭和 60 (1985) 年に開館。南薫造の作品だけでなく、使用した画材や愛用の品々なども展示されている。母屋は江戸時代後期の建築と推定されている。昔の農具や民具も展示されており、当時の暮らしぶりをうかがい知ることができる。	文化振興課
松濤園	下蒲刈町 下島	朝鮮通信使関連資料を紹介する「朝鮮通信使資料館御馳走一番館」など 4 つの資料館がある。それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用している。	文化振興課
呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム)	宝町	海軍のまちとして栄え、戦後はタンカーを数多く建造する明治以降の「呉の歴史」と造船・製鋼を始めとした各種の「科学技術」を紹介する博物館。零式艦上戦闘機六二型などの貴重な実物資料の他、船を中心とした科学技術の原理を体験・体感を通して紹介する展示室がある。	海事歴史科学館学芸課
呉市歴史民俗資料館 (近世文書館) 郷土館	幸町	入船山公園内にある。呉市歴史民俗資料館では、呉市に関する歴史的資料や古い芸備日日新聞、旧海軍関係の資料など幅広い分野の資料を集めている。郷土館は、海軍関係の資料を収集・展示している。	海事歴史科学館学芸課
おんど観光文化会館うずしお	音戸町 鯛浜	おんど観光文化会館「うずしお」には「清盛祭」を紹介するフロアがあり、歴史資料や大名行列の道具・衣装、動く大名行列の模型を展示している。	観光振興課
かまがり古代製塩遺跡復元展示館	蒲刈町 大浦	古代土器製塩遺跡を発掘したままの状態で見学できるように復元した展示館。敷石炉で、炉の大きさは 110cm×180cm、中には 20cm 前後で厚さ 5cm くらいの角の丸い平石が敷かれていたと考えられている。石はところどころに残っており、赤く焼け、表面が剥離した跡がある。	観光振興課
みかんメッセージ館	豊町大長	豊町におけるみかんづくりの歴史、先人達のみかんに込めた情熱や努力を紹介している。館内には、豊町で栽培されている主な柑橘 8 種類の実物大レプリカや「耕して天に至る」といわれるほど、山頂までみかん畑が広がっていた昭和 40 年頃の大長地区を再現したジオラマ模型などを展示している。	観光振興課
あび資料展示室	豊浜町 大字豊島	豊浜の伝統漁法「アビ漁」を紹介する施設として、豊島まちづくりセンター 1 階に平成 29 (2017) 年開館。アビ漁に関する漁具や木造船等の資料、写真を展示している。	観光振興課

## 4 文化財を活用した市民団体等による主な取組事例

### (1) 自然の魅力を体験する取組

[実施団体] ひろしま自然の会

[取組内容] 市内に残る自然環境や生物の調査・研究を実施しているほか、灰ヶ峰公園や二河公園などを中心として、自然観察会を開催しています。自然に触れ合う体験を通じて、身近な自然に対する関心の芽を育てています。



「自然観察会」  
(ひろしま自然の会)

### (2) 歴史的建造物を活かす取組（重伝建を考える会）

[実施団体] 重伝建を考える会

[取組内容] 御手洗伝統的建造物群保存地区に関わる活動を通じて、御手洗の「町おこし」を牽引しています。町家を活かしたイベントの開催や町家の軒先に花を飾る一輪挿し活動、御手洗観光マップの作成などを行っています。



「一輪挿し活動」  
(重伝建を考える会)

### (3) 祭りの魅力を発信する取組（ヤブ女）

[実施団体] ヤブ女（呉秋祭り文化普及実行委員会）

[取組内容] 秋祭りを中心に登場する呉独特の鬼「ヤブ」の文化に注目し、その魅力をSNSなどを通じて様々な世代に対して情報発信やグッズの制作・販売などを行っています。



「ヤブの魅力を伝えるワークショップ」(ヤブ女)

### (4) 歴史の営みを体験する取組

[実施団体] 藻塩の会

[取組内容] 県民の浜（蒲刈）造成工事の最中に出土した製塩遺跡（沖浦遺跡）の調査をきっかけとして、古代の塩づくりを解明する藻塩の会が発足し、解明された土器製塩方法は藻塩づくり体験となりました。古代製塩遺跡復元展示館を活動拠点としながら、藻塩づくり体験を実施しています。



「藻塩づくり体験」  
(藻塩の会)

### (5) 地域の魅力を発信する取組

[実施団体] 安浦まちづくり協議会

[取組内容] 安浦町の風物を書き残した画家・山本譲氏の絵画を活用した「やすうら まちしるべ ウォーキングマップ」などの地域の歴史文化を紹介する冊子を作成しています。また安浦まちづくり協議会ホームページで文化財の紹介や関連するイベント情報を積極的に発信しています。



「まち歩きマップの製作」  
(安浦町まちづくり協議会)

## 第4章 呉市の文化財を紐解いてみよう